

理想の保健体育科の教師について

澤野 友輔 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 谷川 尚己

キーワード：保健体育科，教師像，高校生

I. 緒言

山根¹⁾らは、教師には、「教育者としての使命感、子どもたちに対する教育的愛情、専門的知識、広く豊かな教養、さらにこれらを基盤とした教育実践力などが求められている」と述べている。竹中²⁾らは、体育の教師は、「他教科に比べ、直接生徒と接触する場面が多いため親密であり、さらに教科内容が行動を通じての教育であるため、日常の生活態度及び行動が、おおいに影響を与える」としている。そこで、本研究は滋賀県と兵庫県の高校生を対象に、生徒にとって理想の教師とは何なのかについて調査し、その中で二つの県の生徒の考える理想の保健体育教師の共通点・相違点について検討し、その結果をもとに実際の教育現場で求められる「理想の教師像」を見出そうとするものである。

II. 研究方法

滋賀県内の2高校の1年生(男子223名 女子283名 計506名)、兵庫県内の2高校の1年生(男子145名 女子239名 計384名)を対象に「理想の教師像」についてのアンケート調査を行った。

III. 結果と考察

生徒は、高校の教師では「黒板の使い方(綺麗、わかりやすい、色など)が上手な先生」を、保健体育科の教師では「積極的に参加したいと思える授業をしてくれる先生」を求めていることがわかった。生徒が共通して重要だと考える

ことは、「授業の中で資料やプリントを工夫したり、様々な工夫をする先生」であるとわかつ

た。

4高校に共通する理想の教師像は、「積極的に参加したいと思える授業をしてくれる先生」であった。また、最も重要とされていなかった項目は、兵庫県・滋賀県によって違うことから、生徒が教師に対して求めている内容も異なっていることがわかった。

今回の研究で抽出された保健体育科における理想の教師像とは、「積極的に参加したいと思える授業やさまざまな工夫をしてくれ、運動の楽しさを味わさせてくれる先生」であった。

IV まとめ

今回の研究では兵庫県と滋賀県の生徒にアンケートをとったので、双方の視点から理想の教師像について研究できたため、共通点や相違点などを比較することが出来た。今後、教師を目指す中でも今回の研究は大変意味のあるものになった。

今回の研究を通して、生徒が求める理想の教師像を理解することが出来たので、今後、教師を目指す者として、この研究結果を参考に意識していきたい。

引用・参考文献

- 1) 竹中玉一、松本寿吉 理想的体育教師について
- 2) 山根文男・古市裕一・木多功彦(2010) 理想の教師像についての調査研究—大学生の考える理想の教師像—